

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第4号 H30. 5. 8

茨城県教育研修センター
教科教育課

☎0296-78-3213 (直通)



4/18 若手教員〔初任者〕研修講座開講式が全校種合同で行われました



▲若手教員（初任者）研修講座開講式 教育長講話の様子



▲真剣にメモを取る受講者の様子



▲メンタルトレーニングの講義

受講者の声

メンタルトレーニングについての講義では、自分自身の精神面を見直す良いきっかけとなり、大変勉強になりました。講師経験がないため、社会人としてのマナーについても触れていただけてとても助かりました。先輩の先生方への接し方、保護者対応に生かしていきたいです。（新規採用養護教諭）

今後の研修の日程を見て、まずは1年間もっと栄養教諭として「食に関する指導」を行う必要があると感じました。また、自分自身の人間性についてもう一度見直し、磨いていきたいと思いました。今後の研修では、他の栄養教諭の先生方とたくさん意見交換をし、いろいろなアイデア等を共有していきたいです。（新規採用栄養教諭）

柴原教育長からは、受講者へ「初心忘れるべからず」、「和知人個」の言葉をいただきました。志を高く頑張ってもらいたいという教育長の想いの話や教育長自らの経験談があり、受講者も感化されていました。受講者からは、「この時期、不安だからこそ努力する、練習することが大切であると思う」、「失敗を恐れず挑戦していきたい」等の感想が寄せられました。

志ネットワーク社代表の上甲先生による「以って、範を示す」の講話では、教員としての心の在り方について多くのご示唆をいただきました。「人に伝える・人を動かす・人に考えさせる」ためには、自分の姿を見せる（範を示す）、「流汗悟道」（汗を流すことで人として大事なことを学ぶ）、環境を整え、心を整えることが大切であると感じました。

県の教育長講話、教員応援団特別講話やメンタルトレーニング、人権教育、教職員としてのサービスと基本的心構えの講義がありました。受講者は緊張した表情でしたが、しっかりとメモを取り、研修を深めました。研修の様子はNHKで報道されました。受講者からは「茨城の将来を担う子供たちを情熱をもって育てたい」というような心強い感想が寄せられました。

開講式をスタートに、教育研修センターや授業参観校での研修、勤務校での研修等で研修を重ね、教師としての資質・能力を向上させていきます。教科教育課では受講者の授業力の向上が図れるよう充実した研修メニューを準備しています。